



なんのために木の葉を
観察するの？



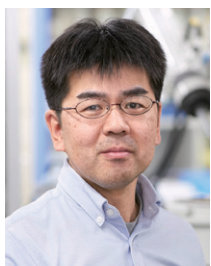
地球温暖化が私たちの生活にどんな影響を 与えるかのヒントを探しています。

葉っぱが開く時期が変わることで 森林が大きく変わるかも？！

地球温暖化の影響により、春になるのが早まり、秋になるのが遅くなると樹木の葉が開いたり落ちたりする時期は変化すると考えられます。今後、この変化がどうなっていくかを予測するために、樹木を観察するなど、さまざまな情報を収集。そしてその変化によって、たとえば、特定の樹木にとって有利な環境となる場合、生態系のバランスが崩れる可能性があることや、温暖化にすぐに反応するのが植物だけだった場合、虫などによる受粉がうまく行われず、樹木に実がなくなるといったことが考えられるなど、日本の森林がどのように変化するか提言することを目標に研究を進めています。

実際に見ることで わかることがたくさんある！

この研究は、長期(数年～数十年)にわたり観察を続け、たくさんのデータを集めなければわからないことが多いので、研究というよりはライフワークに近い取り組みとなります。また、さまざまな場所のデータも必要となるので、自然観察を行っている有志のグループにも協力してもらい、調査を進めています。野外に出て植物をじっくり観察していると、春に芽吹き、葉が開いていくときには、葉の向きが変わるなど、実際に植物が動いているところを見ることが出来ます。そして、その動きは樹木の種類によってかなりの違いがあることもわかります。このように実際にフィールドに出て、さまざまなことを観察・体験することではじめてわかることが多いのも、研究の魅力のひとつ。学生にはこの楽しさをしっかり伝えていきたいと考えています。



長田 典之 先生

Noriyuki Osada

大学時代に尊敬する指導教員に出会えたことで、この世界に進みました。自分がおもしろいと感じることを自由に学ぶことができたので、学生のときから時間があれば森に入って樹木を観察していましたね。

私の 宝物



マレーシアの木彫り人形。

大学院時代、4年半にわたってマレーシアの熱帯林調査をしていました。そのときに手に入れた木製の人形。20年前のことになりますが、この人形を見ると当時のことを思い出します。